



あなたは自分のウェブサイトでプレゼント企画を実施しました。
プレゼントには A と B の二種類があります。

当選者は以下の条件に従って、選出されます。

- 整数 X の倍数番目の応募者はプレゼント A の当選者とする
- 整数 Y の倍数番目の応募者はプレゼント B の当選者とする

応募者の数が与えられるので、各応募者のプレゼント当選情報を出力してください。プレゼント A と B の両方当選した人は AB、A だけ当選した人は A、B だけ当選した人は B、どちらも当選してない人は N を出力してください。

入力例 1 の場合、応募者の人数は 5 人なので、5 人の当選情報を出力します。プレゼント A の当選者は、2 の倍数番目の応募者で、プレゼント B の当選者は 4 の倍数の当選者なので、2 番目の応募者は A、4 番目の応募者は AB となり、それ以外の応募者は N になります。



🚩 評価ポイント

- 10回のテストケースで、正答率、実行速度、メモリ消費量をはかり得点が決まります。
より早い解答時間で提出したほうが得点が高くなります。
1. 複数のテストケースで正しい出力がされるか評価 (+50点)
 2. 解答までの速さ評価 (+50点)

📦 入力される値

入力は以下のフォーマットで与えられます。

```
N X Y
```

- 1 行目にはそれぞれ整数 N , X , Y がこの順で半角スペース区切りで与えられます。これらは応募者が N 人であることを示し、 X の倍数番目の応募者がプレゼント A の当選者となり、 Y の倍数番目の応募者がプレゼント B の当選者となることを示します。
- 入力は 1 行となり、末尾に改行が 1 つ入ります。

それぞれの値は文字列で標準入力から渡されます。[標準入力からの値取得方法はこちらをご確認ください](#) 📄

📄 期待する出力

おそれぞれの応募者の当選情報を以下の形式で出力してください。

```
a_1
a_2
...
a_N
```

- 期待する出力は N 行からなります。
- i 行目 ($1 \leq i \leq N$) にはそれぞれ i 番目の応募者の当選情報を出力してください。
- プレゼント A に当選しているとき、大文字アルファベットの A を、プレゼント B に当選しているとき、大文字アルファベットの B を、プレゼント A、B の両方当選しているとき、大文字アルファベットの AB を出力し、当選していないとき、大文字アルファベットの N を出力してください。
- 出力最終行の末尾に改行を入れ、余計な文字、空行を含んではいけません。

✅ 条件

すべてのテストケースにおいて、以下の条件をみたします。

- $1 \leq N \leq 1,000$
- $1 \leq X, Y \leq N$

入力例1

5 2 4

出力例1

N
A
N
AB
N

入力例2

6 3 2

出力例2

N
B
A
B
N
AB